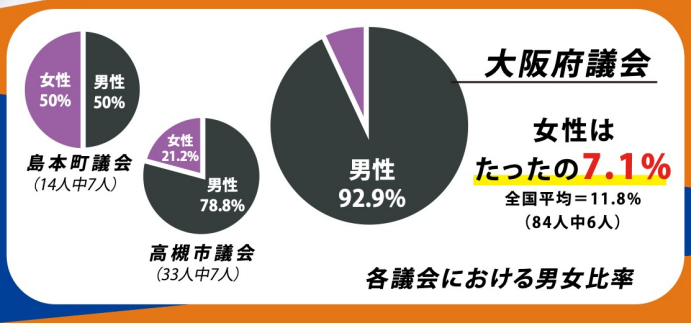
大阪府議会議員 ののうえ愛 経歴

1977年生　　阿武野幼、阿武野小・中、三島高卒。
高校時代は、演劇部と生徒会活動に没頭。在学中に私服登校を実現する。
関西外国語大学短期大学部へ入学。
海外からの留学生との交流。自身も語学留学や旅行で多くの国々を訪れる。これからはアジアの視点を抜きにはできないと感じる。
龍谷大学法学部政治学科へ編入。「議員インターンシップ」プログラムに参加。そこでの経験が大きな転機に。
同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程(前期)へ進む。
地方行政への住民参加(住民投票やまちづくり条例等)について研究。
議会が行政のチェック機関としてだけではなく、政策提言の場として市民に開かれたものである必要を感じる。
市政モニターにも参加。高槻CATVネットワークで市民リポーターとしても活動。
高槻市議会に女性や若者が極端に少ない状況を「なんとかせな!」と一念発起。
2003年、25歳で高槻市議会選挙に挑戦し、当選。以降、4期連続当選。
2019年、大阪府議会議員選挙初当選

現在は議員活動と2児の育児、親の介護にも奮闘中。

府政はもっと近くなる

ののうえ愛



愛ある大阪　命を守る大阪へ

＊コロナ禍の教訓を生かす医療

新型コロナ禍で明らかになった大阪の「弱点」を**“人への投資”**で改善。大幅な保健所統合など、行き過ぎた行政サービスの縮小・公務員の削減にはNO。

＊はたらくと暮らすを支える

大阪のものづくりを支える中小企業や若者・女性の起業を応援。NPOとともに**持続的な人材育成とキャリア形成を支援**。府営住宅の大規模リノベーションで住宅政策を再構築。若年層の入居も促進し**全世代が安心して暮らせるコミュニティづくり**を。

＊子育てと教育

給付型奨学金や**奨学金の返還支援**で若い世代の学びを支援。子どもの自尊感情、個性に配慮した教育を重視。子どもを守る学校、行政、警察、司法の新たな連携も。

＊万博・カジノよりも防災投資

一過性のイベントよりも、都市防災インフラへの再投資を。大阪北部地震や台風21号被害を教訓に**命を守る強い大阪に**。

＊府民の声に応え機能する議会へ

2度の都構想住民投票に100億円を投じ、”カジノ誘致”では21万筆もの府民の声に耳を傾けず、新型コロナ禍では知事の専決処分が急増し全国ワースト1に。**知事独断の府政を正しくチェックする機能**を議会に取り戻す。

＊これからの民主主義をめざして

4年に一度の選挙だけでなく、**参加型予算策定**や**対話型の政策形成制度を導入**し、府民がいつでも参加できるこれからの政治の仕組みをつくる。

Twitterにて情報発信中です
ぜひフォローをお願いします

2022.12.23 高槻・島本
号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

お問合せ
立憲民主党大阪府連第10区総支部
〒569-0071高槻市城北町1-5-23 エクセレント城北
Tel.072-668-5655　Fax.072-676-7136

立憲民主党　立憲民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988　Fax.03-3595-9088

ののうえ愛 の 大阪府議会報告 [速報版]

大阪府議会では、４年の任期の間に３度の本会議での個人質問である「一般質問」の機会があります。以前に所属していた高槻市議会では４年間で15回の本会議一般質問の機会がありましたので、定数の多い府議会とはいえ、随分と質問機会が少ないのです。その３度目となる一般質問を12月の本会議で行い、大きく５つのテーマを取り上げました。１、公共交通機関でのカスタマーハラスメントや第三者暴力行為への対処について。２、特別支援学級についての文科省通知を受けた大阪におけるインクルーシブ教育の今後について。３、大阪府政における信頼ある情報発信に向けて。４、万博・IRをめぐる夢洲開発の現状と課題について。５、18歳以下の子どもへのお米配布事業について。そのうち、年末になりニュースでも大きく取り上げられた夢洲の問題についてご報告します。

大阪湾の埋立地である夢洲では、2025年4～10月まで大阪・関西万博が開催予定です。ところがここにきて、万博用地と地続きの大阪IR・カジノ予定地の土壌問題が深刻であることが露見し、またパビリオンなどの会場建設で入札の不調・不落が相次ぎ、来春着工のスケジュールにも黄色信号が点灯しています。すでに当初予定されていた会場建設費は1250億円から1850億円まで上振れすることが示されていますが、さらなる追加費用は認められません。また、万博会場へのアクセス道路として整備する予定だった淀川左岸線も工事が大幅に遅れ、現時点での完成予定は2030年代に入るうえに1000億円以上の追加費用も発生する事態になっています。期間中は専用シャトルバスだけを通行させてお客さんを運ぶ予定と言いますが、本当に上手くいくのか、ここでもさらなる追加費用が発生しかねない状況です。

折しも、東京オリンピックの最終費用が当初計画の2.3倍、1.7兆円にも膨らんだと国会に報告されました。万博も同じ道をたどらないか、不安しかありません。世界をみても万博や五輪のようなビッグイベントが景気の起爆剤になるという時代ではありません。こうしたイベントを実施した各国は、後始末に苦心しています。

医療や教育、環境、防災など、地域を支えるインフラの再整備が大阪府全体で必要です。派手さはなくても、数十年先の日本をつくる公共政策を地道に続けることが、苦境に立つ大阪のための最善の道であると信じて、そのための政策を提案してまいります。

どうなる？ お米券

今回の議会では、総額76億5千万円を使って大阪府内の18歳以下の子どもにお米10kgを配布する事が決まりました。吉村知事は、お米券など既存のサービスは「転売の恐れがある」として活用せず、今回のためだけに「大阪府デジタルお米券」システムを作るとしたのです。お米が食べられない人のために他の食品の詰め合わせも選べるようにするとは言いますが、一人当たり予算が5000円というならば素直に現金を支給した方がよかったのではないかと思います。申し込みは３月頃から開始の予定ですが、個別の案内もない、なんとも不親切な制度設計です。みなさん、大阪府の情報を見逃さないようにお気をつけください。

発行
大阪府議会議員ののうえ愛事務所　〒569-0071高槻市城北町1-5-23 エクセレント城北1F
Tel.072-669-7790　Fax.072-669-7794　https://www.nonoueai.net/　info@nonoueai.net